

織田栄養専門学校 自己点検評価報告書

1. 学校の理念と教育目標

多様化する食文化に対応できる食の専門家として知識と技術を身につけた「栄養士」の育成を教育理念とする。本校では、自ら考え、行動し、自分の考えを他人に伝える能力を養うことを教育目標として掲げ、生きる力を育み、社会に貢献できる卓越した人間の育成につなげていくことを目的としている。

2. 本年度、重点的に取り組んだ目標及び計画等

選択演習、卒業論文を通し、定められた目標をどのように達成していくか、グループワークの中で学び、後期では集大成として、ポスターセッションによる発表と、卒業記念祭時に1年生からの質疑応答、ディスカッションを行った。

3. 評価項目の達成及び取組状況

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切・未実施…1 該当しない…*

(1) 教育目標・理念

評価項目		評価
1	理念・目標・育成人材像は、定められているか	4
2	学校における職業教育の特色が明確になっているか	4
3	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4
4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 評価について

項目	コメント
	教育理念や教育目標を明確化することが可能なカリキュラム構成をもって教育を行っている。特に学生が自身の栄養士像を描き、将来を見据えた上で、目的に適合した選択をすることができる選択演習や卒業研究がカリキュラムの特徴でもある。与えられた課題に取り組み、学生間または教員との討議を重ねることにより、人に伝えることの難しさや達成感を得ることができた。また、1年生は卒業論文の発表と2年生との直接討議により、選択演習の取り組み方法が実感できた。教員は社会で求められる栄養士像を把握することで、ニーズに対応した教育内容を検討している。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	社会で求められる人材の育成にあたって、知識・技能の習得だけでなく、コミュニケーション能力を高め、自ら問題を発見し解決できる能力を高めるための取組が必要である。

(2) 学校運営

評価項目		評価
1	教育理念・目標に沿った運営方針が策定されているか	4
2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
3	運営組織や意志決定機能が規程等において明確化されているか。 また、規程などが、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
5	教務・財務等組織整備などの意志決定システムは整備されているか	4
6	学校運営におけるコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 評価について

項目	コメント
	学園の理念の下、栄養校としての理念、目標を定めている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	就職活動支援の情報システム化を検討して行きたい。

(3) 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	教育カリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	産学連携して、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	実践的な職業教育(産学連携教育、インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価を実施し、その評価体制はあるか	3
8	教育内容に関し、外部関係者からの評価・助言を取り入れているか	3
9	授業内容、授業計画を作成、周知し、その進捗管理がおこなわれているか	4
10	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
11	資格取得の指導体制がカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか	4
12	教育目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
13	関連分野業界との連携に優れた教員を確保するマネジメントが行われているか	3
14	教員に対し、専門の知識・技能等修得するための研修や指導力育成など資質向上のための研修が計画的に行われているか	4
15	職員に対し、能力開発のための研修等が行われているか	3

① 評価について

項目	コメント
	専門分野の研究、資質向上の研修を中心に実施している。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	研究の奨励支援を行い、研究発表や論文作成を推奨していきたい。

(4) 学修成果

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成の状況を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	3

① 評価について

項目	コメント
	全教員はコミュニケーション能力が高く、特に担任、副担任は学生と密にコミュニケーションをとってその状況をよく把握している。就職に関しては、就職担当者と担任が連携し、対応している。卒業後も担任は交流を続けており、卒業後の状況把握に役立っている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	基礎学力に問題のある学生に対しては、向上するための努力はしているが、学習意欲に問題のある学生が居ることは否めない。退学率を減少させるために入学前に課題や授業などを取り組む必要がある。

(5) 学生支援

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生からの相談に対応する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	学生のメンタルヘルスを担う組織体制はあるか	4
6	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
7	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4
8	保護者と適切に連携しているか	4
9	卒業生への支援体制はあるか	3
10	社会人のニーズを踏まえた教育に取り組んでいるか	4
11	高校・高等専修学校等と連携してキャリア教育・職業教育に取り組んでいるか	3

① 評価について

項目	コメント
	進学・就職に関しては就職希望者は90%前後と高く、また、希望者に対しての内定率も100%を達成している。内定者は全て栄養士業務に携わる。担任、副担任、就職担当者の連携した体制がこの結果を維持しているものと考え。学生のメンタルヘルスケアも実施されており、今年度は数名の学生が保護者を通じてカウンセリングを受けた。結果については個人情報のため把握する事はできないが、このシステムは問題のある学生の指導する教員の精神面のサポートにもなっている。卒業後も担任と連絡を取りやすい環境にあり、卒業生への支援体制は良いと考える。保護者に対しては入学時に説明会を実施し、希望者には授業見学も対応している。欠席が多い学生、成績に問題がある学生に対しては保護者と連絡を取り、必要に応じて面談も行っている。学園ホームページ上に卒業生向けの就職支援ページを設けている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	教員と学生との距離が近いが、学費未納の学生に対する対応など問題点もある。

(6) 教育環境

評価項目		評価
1	施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学外の実習機関、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4

① 評価について

項目	コメント
	JR沿線の立地の為、若干の騒音と振動は避けられない。 校外実習で、学外の企業等実習機関と連携している。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	防災体制の更なる整備、避難訓練の充実が求められる。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目		評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育内容・成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4

① 評価について

項目	コメント
	パンフレット、インターネット、ガイダンス、体験入学、模擬授業など一般的に行われている募集活動が行われている。体験入学時には教育内容など学校の特徴を伝えている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	高校生や20代の若者に合わせた対応とともに、父母・保護者に対しても、学校の充実した内容を伝えていきたい。

(8) 財務

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開に体制整備はできているか	3

① 評価について

項目	コメント
	財務状況は安定しており、現在、借入金はない。 毎年、監査法人による監査を実施している。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	財務状況等のインターネット公開を検討する。

(9) 法令等の遵守

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	3

① 評価について

項目	コメント
	平成28年度自己点検評価から公開を予定している。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	今後、学生による講義内容の評価は年度末に行っているが、今後は各期ごとに行う必要がある。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援してるか	4
3	地域や地方公共団体と連携し、受託等を積極的に実施しているか	4

① 評価について

項目	コメント
	中野区との連携による、高齢介護予防事業、「なかのまちめぐり博覧会」、「なかのにぎわいフェスタ」などの依頼を積極的に取り組んでいる。学生のボランティア活動に関しては、栄養士として取り組める活動の情報を提示しており、積極的に活動を行う学生もいる。東京都食育フェアや食育推進全国大会への出展にも、多くの学生がボランティアとしてが参加している。地方公共団体との連携では、長野県下諏訪町商工会議所の事業を受託し、教育との連携を行っている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	中野地域に関しては、どのようなニーズがあるか、情報収集を行っているが、今後は地域にある企業との接点を取ることが課題である。

(11) 国際交流

評価項目		評価
1	留学生の受入れについて、計画的な管理運営がなされているか	3
2	受入れ、在席管理等において適切な指導、手続き等がとられているか	4
3	学習成果が国内外に評価される取組を行っているか	3
4	国際交流を推進する体制は整備されているか	3

① 評価について

項目	コメント
	留学生については、日本語能力と学力を入学専攻前に審査している。栄養士免許を取得することは学習成果が国内に評価されたことであるが、海外の栄養士制度は各国の食文化に起因するものであり国外の評価の対象では無い。在校生の国際交流のひとつとして、国際連合世界食糧計画(WFP)が主催するイベントに希望学生が継続的に参加している。学校給食プログラムへの積極的な取り組みも行っている。

② 課題と今後の対応について

項目	課題と対応
	留学生については、企業の栄養士としての正規雇用求人は皆無なのが現実である。入学希望の留学生にはこの点をよく伝えるようにしているが、留学生受入には常にこの点が課題となる。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

	<p>教育理念、教育目標はおおむね達成出来たと思われる。今後の課題として、授業評価を前期、後期それぞれで行い、更に、教員の研修を充実し学生へ還元することが必要である。学生の教育環境の整備を順次行う必要がある。</p>
--	--